

2020年5月15日

福島県

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構  
(福島ロボットテストフィールド)

一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA)

日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)

一般社団法人日本産業用無人航空機工業会(JUAV)

国内標準とすべき指針、警備や国際イベントなどで  
無人航空機(ドローン)を運用する事業者認定の指針となる  
ガイドラインや教育カリキュラムを作成し公開しました

## 1. 成果の概要

福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールドは、ドローンなど無人航空機の活用が有効である以下の5つの事例に関して、無人航空機を運用する事業者の認定及び事業者が無人航空機を安全に運用するための指針となるガイドライン等を標記関係団体の協力を得て作成しました。

これは、「国内の運用事業者認定の標準化」を目標とするものです。

※事業①の「プラント点検分野」に関しては4月6日(月)ニュースリリース済です。

	事業名	協力団体
事業①	小型無人機を用いたプラント点検分野	JUIDA(注1)
事業②	福島浜通り地域における無人航空機による警備	JUTM(注2)
事業③	国際イベント等の催し物等における小型無人機による空撮やAED搬送	JUIDA
事業④	国際イベント等の催し物等におけるパブリックセーフティ確保	JUTM
事業⑤	RTFにおけるJUAV機体認定事業第1号	JUAV(注3)

(注1) JUIDA: 一般社団法人日本UAS産業振興協議会

(注2) JUTM: 日本無人機運行管理コンソーシアム

(注3) JUAV: 一般社団法人日本産業用無人航空機工業会

## 2. 各事業の成果資料

事業	名称	概要
事業全体	福島ロボットテストフィールドを用いた無人航空機利活用事業の認定とパブリックセーフティのあり方に関する調査事業 成果報告書	事業①～⑤の取りまとめ資料
事業①	プラント点検分野におけるドローンの安全な運用方法に関する実務マニュアル	ドローンを用いたプラント点検に関する現場作業の要領をまとめた実務マニュアル、チェックリストおよびプラント点検に従事する人材の育成に向けた教育カリキュラム
	プラント点検分野におけるドローンの安全な運用方法に関するチェックリスト	
	ドローンを用いたプラント点検事業者教育カリキュラム	
事業②	警備分野における無人航空機の安全な運用方法に関するガイドライン	ドローンを用いた警備に関する体制構築、現場作業の要領をまとめたガイドライン、チェックリストおよび警備に従事する人材の育成に向けた教育カリキュラム
	警備分野における無人航空機の安全な運用方法に関するチェックリスト	
	無人航空機を用いた警備事業者教育カリキュラム	
事業③	国際イベント等の催し物における空撮・救急医療分野での無人航空機の安全な運用方法に関するガイドライン	国際イベント等の催し物で無人航空機により空撮・AED搬送を行う際のガイドラインと、チェックリストおよびRTFを活用した飛行事業者認定のための教育カリキュラム
	国際イベントの催し物における空撮・救急医療分野での無人航空機の安全な運用方法に関するチェックリスト	
	無人航空機を用いた国際イベントの催し物における空撮・AED搬送事業者教育カリキュラム	
事業④	国際イベント等における福島ロボットテストフィールドを活用したパブリックセーフティの確保のためのガイドライン	国際イベント等の施設周辺に飛来する無人航空機の識別を含めたパブリックセーフティの確保のための無人航空機の安全な運用ガイドラインとチェックリスト
	国際イベント等における福島ロボットテストフィールドを活用したパブリックセーフティの確保のためのガイドラインチェックリスト(非公開)	
事業⑤	資料非公開 (概要等は成果報告書に記載)	無人航空機の安全性に係る機体認定試験のあり方を検討するための、RTFの施設・設備を用いた飛行審査の実証実験

詳細は福島ロボットテストフィールドのホームページで公開しています。<https://www.fipo.or.jp/robot/news/post-1688>

### 3. 実証実験の様子

今回ガイドライン等を作成するにあたり、その実効性を検証するために各事業についてRTFの施設・設備を使った実証実験を行いました。

#### (1) プラント点検



外壁を点検するドローンの様子



狭小空間を点検するドローンの様子

#### (2) 警備



自律飛行により離陸する警備ドローン



ドローンから撮影された不審人物の映像

#### (3) イベントでの救急医療(AED搬送)



AEDを搬送するドローンの様子



AEDを吊り下げるドローンの様子

#### 4. 今後の展望

---

本成果資料を活用し、ドローンなど無人航空機を用いてこれらの事業を行う事業者のために、教育テキスト・育成コースを開発する予定です。またこれらの運用事業者の認定を行うためのスキームを検討します。

※本成果資料は、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構福島ロボットテストフィールドが「福島ロボットテストフィールドを活用した無人航空機利活用事業者認定とパブリックセーフティのあり方に関する調査事業」を一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA)に委託し、作成しました。

#### 【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構  
福島ロボットテストフィールド技術部 安達  
TEL:0244-25-2475 E-mail:[roboto3@fipo.or.jp](mailto:roboto3@fipo.or.jp)

一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA) 広報  
TEL:03-5244-5285 E-mail:[press@uas-japan.org](mailto:press@uas-japan.org)

以上